



「ふれあいの杜」が完成しました

校長 井之上 良一

去る11月1日(月)、文化祭のプログラムの中で「ふれあいの杜」の完成を祝う式典を開催しました。当日の式典の様子は、右下の新聞掲載記事と裏面の掲載記事に記載されているとおりですが、おかげをもちまして多くの保護者や地域の皆様方の御臨席の下、記念植樹と記念撮影まで滞りなく終了することができました。

今回は、地域の皆様方に「ふれあいの杜」のことを知っていただく良い機会ですので、この整備事業の目的や経過を改めて紹介させていただきたいと思います。

学校沿革史をひも解いてみると、「昭和55年6月22日 旧校敷地の樹木移転(P.T.A奉仕)」という記載が見られます。本校の校内林は、現敷地に校舎が新築され、落成を迎えた後、学校の環境整備の一環として当時のP.T.Aが中心となって樹木の移植を行って設置されたものであることが分かります。移植された木々には、旧敷地時代の土橋中学校の歴史を偲ぶとともに、生徒たちを見守りつつ共に成長して欲しいという願いが込められていたのではないかと想像します。下の写真(左側)は、樹木類を移植して5年後にあたる昭和60年頃の学校の様子です。写真が不鮮明で分かりにくいと思いますが、校舎左側にまばらに樹木が点在しているところが当時の校内林です。

この校内林は、その後イチョウや梅などが折々に追加植樹され、徐々に現在の規模になっていったものと思われます。また、記録として残されていませんが、木製の樹木名表示板がかけられ、散策道が設置されていた形跡がありました。おそらく20年ほど前まで、植物や自然を観察する場所として利活用がよくなされていたものと思われます。

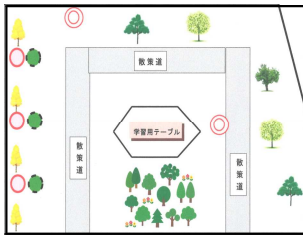
昭和60年当時から35年の月日を経た校内林の様子が下の写真(中央)です。植樹されたイチョウやクロガネモチ、クスノキなどは立派な巨木となり、中はシダ類が繁茂する状態になっていました。この貴重な林を常時活用できる場所として整備できないかと考え、立案したのが下(右側)の整備構想図です。



昭和60年当時の校内林



工事前の校内林(令和2年7月)



整備構想図(令和2年9月)

樹木が大きく成長し、互いに成長を阻害し合っている状態を改善するために大掛かりな伐採と伐枝を行い、余剰のスペースに新たに果樹類を植樹する計画です。また、校内林を周回できる50mほどの散策道を設置することも計画に盛り込みました。構想図は、でき

上がりましたが、この規模の事業を実施するためにはある程度まとまった資金が必要となります。折よく、株式会社ローソンのみどりの募金を原資とする「学校環境緑化モデル事業」という助成事業があることが分かり、令和2年10月に正式に申請を行いました。その後、現地審査に当たった公益財団法人かごしまみどりの基金から全面的御支援をいただき、助成金50万円が交付される運びとなりました。

本年7月1日に最終的な助成決定通知が届き、すぐに整備作業に着手しました。下の写真がその整備作業の様子です。8月から伐採・伐枝作業に取り掛かり、夏休み中には看板設置までこぎつけました。



重機による伐採作業



生徒たちによる作業の様子



杜の入り口付近の看板

その後、引き続き散策道の整備作業や樹木ネームプレートの設置作業を進め、10月末日に一応の完成をみました。

式典当日の記念植樹では、富有柿と次郎柿を植樹しましたが、そのほか太秋柿やユズ、オリーブなども併せて植樹しました。近い将来、生徒たちが旬の味覚に触れるとともにメジロやウグイスなどの小鳥たちが杜を訪れてくればと考えています。

なお、この校内林を「ふれあいの杜」と命名したのは、今後、各教科の授業などで自然や環境について学ぶ場所として活用することはもとより、幼稚園や小学校、地域の方々などとの触れ合い(交流)の場所となり、学校や地域の歴史、俳句や短歌等の文学などについても理解を深める場所になってほしいという願いに基づいています。

生徒たちもローソンやみどりの基金の御支援に心から感謝し、今後「ふれあいの杜」で学習や交流を深めていくことをとても楽しみにしております。保護者や地域の皆様方におかれましても気軽に御来校いただき、「ふれあいの杜」を大いに活用していただければ幸いです。

伊集院・土橋中学校

荒れた林 憩いの場に
ベンチや散策路 生徒ら手作業

「ふれあいの杜」の整備が完了し、生徒たちが憩いの場として活用しています。

伊集院・土橋中学校の校内林は、昭和60年当時の校内林から整備が進められ、令和2年9月に整備構想図が発表されました。この構想図は、散策路やベンチの設置、樹木の移植などを含んでいます。生徒たちが手作りでベンチや散策路を設置し、憩いの場として活用しています。

伊集院・土橋中学校の校内林は、昭和60年当時の校内林から整備が進められ、令和2年9月に整備構想図が発表されました。この構想図は、散策路やベンチの設置、樹木の移植などを含んでいます。生徒たちが手作りでベンチや散策路を設置し、憩いの場として活用しています。

文化祭 11/1 Be together as one 今こそ私たちにできること

1日に開催された文化祭は、オペレッタ、ビブリオバトル、ダンスなど、今年も多彩な発表があり、それぞれの持ち味を活かしたすばらしいパフォーマンスが繰り広げられました。

今年度は、学校の先生たちを中心としたゴスペル団体「モゼーズ」の賛助出演もあり、『OH HAPPYDAY』などの楽曲で大変美しい歌声とハーモニーを聴かせていただき、会場は魅了されました。

また、PTAの保護者による『大型絵本の読み聞かせ・表情人形劇』はとても楽しく、会場は大きな笑いに包まれました。

また、当日は、土橋中学校伝統の「朝の歌・夕の歌」を始められた西恵子先生による講話「土橋中学校の思い出」もありました。その後、先生の指揮で、西世紀先生(恵子先生の夫君)作詞の『さくら草』を子どもたちが合唱し、惜しみない拍手が鳴り響きました。

各教科、学年等の展示ブースも昨年よりも更に工夫されており充実していました。

約80名の方々に、文化祭を鑑賞していただきました。御観覧ありがとうございました。



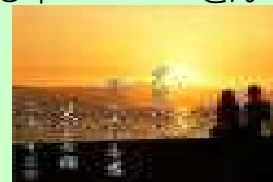
おめでとうございます

第10回ひおき文芸賞
俳句部門(中学校の部)

入選

3年

さん



第2回英語検定

準2級合格

3年

さん

※令和3年度学校緑化コンクール「優良賞」を昨年度に続き受賞しました。

小中合同地域ふれあい活動11/13

新型コロナウイルス拡大防止対策のため、昨年同様異なる形で実施することになったふれあい活動。自治公民館に集合し、前半は小学生と中学生でのレクリエーション活動、後半は、高齢者の方も手伝ってくださり、花壇の花植えや公民館の清掃活動を行いました。

上土橋地域では、14名の児童に3名の生徒が中心となってけん玉大会、ジェスチャーゲーム、ビンゴ大会を行い、大いに盛り上がりました。中学生が事前に企画し、当日は小学生を楽しませようと一生懸命に活動していました。小学生と中学生のふれあい、更に、花植活動で高齢者の方々ともふれあえて、大変意義ある半日となりました。

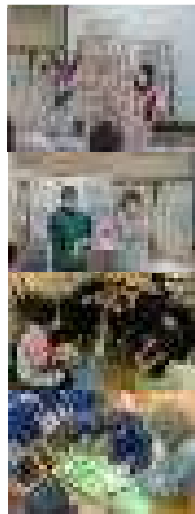


保健タイム 10/22 命ふれあい教室

市役所健康保険課から保健師さんと助産師さんに来ていただき、「命ふれあい教室」を実施しました。命が受けつがれていることや、妊婦シミュレーターを装着しての妊婦体験、胎児の心音を聞いたり、グループに分かれて赤ちゃん抱っこシミュレーターを使つての体験学習を行いました。

授業後の感想の中で、人が生まれる確率が250兆分の1であることに驚いたり、実際に妊婦体験をして母親の大変さを感じ取ったりしている様子をうかがい知ることができました。また、「生まれてきたときから今まで大切に育ててくれてありがとう」など家族へのメッセージを書いている生徒もいました。

命が継承されていることに気づき、自他の命の尊さを認識する大変良い機会となりました。



ふれあいの杜完成式典 11/1

文化祭のプログラムの中で、「ふれあいの杜」完成式典を行いました。

土橋中「ふれあいの杜」は公益財団法人かごしまみどりの基金の学校環境緑化モデル事業として、選定され整備が進められました。

当日は、資金母体である株式会社ローソンよりお二人が来賓としてお見えになり、あいさつを頂きました。また、文化祭終了後に、子どもたちと記念植樹も行いました。

これから学習の場として、地域との交流の場として大いに活用していき

いと考えています。



日	曜	12月の主な行事予定
1	水	3年生三者面談(~3日) おひさまあいさつの日 人権週間(~8日)
3	金	人権教室
7	火	新年度PTA役員選出に係る話し合い
11	土	土曜授業 校内持久走大会
14	火	巡回図書
16	木	校内推薦委員会
17	金	2年高校訪問
24	金	終業式 PTA小中合同校外補導
28	火	仕事納め